

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	図書館・文化ホール等管理運営計画策定事業			
予算科目	10 款 5 項 7 目			
総合計画での位置付け	教育・文化・スポレクの振興～うるおいと生きがいのひとつづくり～生涯学習の推進			
所管課情報	担当課:	社会教育課	電話番号(内線):	732
記入者情報	所属長:	武智 亨	担当責任者:	北岡 康平
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 26 年度 【開始年度】平成30年度			
事業の対象				
根拠法令等	図書館法、文化芸術振興基本法、社会教育法			
事業の目的	「伊予市図書館・文化ホール等建設基本計画」に掲げる基本理念『学び はぐくみ つながる 出会いの広場』に基づき、施設の役割や望ましい姿を見据え、管理運営における重要な視点と基本的な考え方を明確にするために策定する。			
事業の内容	「図書館機能(文化資料館機能を含む)」「文化ホール機能」「公民館機能」を融合させた複合型文化施設の建設に向け、多様な目的で訪れる幅広い利用者のニーズにふさわしい活動空間を提供し、新たな出会い・発見・交流の機会を創出する施設づくりを目指した管理運営計画を策定する。			
改善策の具体的な取り組み(当初)	平成26年度からの事業			
改善策の具体的な取り組み	平成26年度からの事業			

事業費及び財源内訳					
項目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	0	8,391	267	8,287
	人件費	0	6,681	6,681	6,681
	合計	0	15,072	6,948	14,968
人件費内訳	人工数	0.00	0.84	0.84	0.84
	人件費単価	0	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	0	6,681	6,681	6,681
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	0	15,072	6,948	14,968

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
管理運営計画策定状況	式		1		1

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	11,559	12,000	12,000	10,000	10,000	55,559

成果指標				
成果指標	管理運営計画策定における進捗及び、計画策定状況			
指標設定の考え方	新施設開館(平成30年度)までの工程及び、各年度における工程設定に係る進捗状況			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標30年度
目標	0	1	1	1
実績	0	1	1	1

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>社会情勢の変動により、建設計画を変更せざるを得ない事態に陥ったこともあり、検討委員会の進行に影響があった。まず、市の方針(新施設の方向性等)や今後の予定、財源確保に係る情報(交付金)などについて整理し、庁内内部はもとより、検討委員会での情報共有を図った上で協議をする必要がある。また、「参画と協働の郷づくり」に掲げているとおり、市民(行政)参画及び協働の場づくりに努め、お互いが研鑽をしながら信頼関係を構築していかなければならないが、現在の組織体制では実施は困難であるとする。新施設が順調に機能するよう、可能な限り早い段階からの管理運営に係る人材確保並びに育成に向けた体制づくりに取り組む必要があると考える。</p>			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5	A
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	<p>図書館を複合施設の中核に据えた施設に作り上げ、文化ホールや公民館機能を一体とした運営が行えるようにしていく必要がある。そのために市民参画により、市民が「私たちの施設」として身近で誇りある存在となるよう計画を進めていくことが重要である。</p>			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・事業内容については、非常に必要なものである。時代のニーズに合わせた具体的な詳細計画を検討いただきたい。・人材や組織体制が不備ということは心配である。一つ頑張ってください。・計画自体がよく分からない。統合するくらいしか分からない。・組織が構築されていない課題がある。統合した後は主要な建築物の一つとなるので、市を挙げて体制を組んでほしい。・子どもからお年寄りまで、市民が利用しやすい要望に沿った建物構造としてほしい。奇抜な建物はいらない。・ワークショップと検討委員会、苦勞されながら運営しているところと、自己の課題認識とのギャップに違和感がある。・公民館が担当するのはなく、未来づくり戦略室なども含め、抜本的にやるべきプロジェクトであると思う。・実際担当は大変だと思う。具体的な労力や精神的負担も含めた運営方法を考案すべきである。計画倒れではいけない。</p>
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>さらに重点化する。</p>
<p>意見、課題</p>	<p>指定管理も含めた効率の良い配置を目指すこと。専門的な人材育成を進めること。</p>